

神戸市

神戸市精神障害者地域移行・地域定着支援事業

神戸市では・・・

精神障害者の地域移行及び地域定着の体制整備を推進するため、ピアサポーターを養成し、ピアサポーターの活用による支援や関係機関の連携強化による地域の支援体制の充実を図る。精神障害者の地域のネットワーク会議の開催を各区で行い、地域の医療と福祉の連携強化、地域のネットワークの強化を図る。

1 県又は政令市の基礎情報



取組内容 平成28年度まで

- 【人材育成の取り組み】
 - ・ピアサポーター養成研修・支援者研修
 - ・ピアサポーターフォローアップ研修
 - ・ピアサポーター交流会バックアップ
- 【精神障害者の地域移行の取り組み】
 - ・精神障害者地域移行・地域定着推進事業（ピアサポーター活用事業）
 - ・地域支援機能強化事業
 - 障害者地域生活支援センターに地域支援機能強化専門員を配置し、地域移行に関するネットワーク構築、地域住民に対する普及・啓発等をおこなう。
 - ・神戸市グループホーム整備支援事業
 - ・長期入院患者退院支援事業
 - 生活保護法における長期入院患者のうち入院治療の必要性が低い者に対し退院を支援することにより、患者の適正な処遇を確保し、医療扶助の適正な給付を図る。

基本情報

障害保健福祉圏域数（H29年5月末）	1カ所		
市町村数（H 年 月末）	政令市		
人口（H29年3月末）	約153万人		
精神科病院の数（H29年3月末）	14病院（うち1病院は認知症専門）		
精神科病床数（H29年3月末）	3629床		
入院精神障害者数 （H28年6月末）	3か月未満：873人（28.6%）		
	3か月以上1年未満：540人（17.7%）		
	1年以上：1641人（53.7%）		
	うち65歳未満：732人	うち65歳以上：909人	
退院率（H28年6月末）	入院後3か月時点：56.3%		
	入院後6か月時点：83.4%		
	入院後1年時点：91.8%		
相談支援事業所数（H28年4月末）	基幹相談支援センター：1		
	一般相談事業所数：26		
	特定相談事業所数：45		
障害福祉サービスの利用状況 （H28年度利用H29年3月末）	地域移行支援サービス：20人		
	地域定着支援サービス：8人		
保健所（H29年5月末）	1カ所		
（自立支援）協議会の開催頻度（H29年3月末）	区自立支援協議会に精神専門部会を有するところ2ヶ所 ○回/年		
精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた保健・医療・福祉関係者による協議の場の有無と数	政令市（都道府県）	有・無	1カ所
	障害保健福祉圏域	有・無	0カ所
	区（市町村）	有・無	3カ所
精神保健福祉審議会（H29年3月末）	1回/年、委員数13人		

※H29年6月時点

2 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた取組概要（全体）



入院生活

地域生活のはじまり ⇒ 安心でき、安定した地域生活

精神障害者地域移行・地域定着包括支援ネットワーク事業（地域移行・地域定着連携会議）

個別支援体制・地域生活定着支援体制の構築

精神科病院

<退院支援>

- ・退院意欲喚起
- ・生活能力の向上（疾病教育、服薬管理、金銭管理等）
- ・地域援助事業者との連携、地域事業所での体験プログラムの活用 など
- ・退院後生活環境相談員（法）
- ・入院当初からの医療保護入院者への退院支援
- ・医療保護入院者退院支援委員会の開催
- ・退院支援相談員（診療報酬）
- ・精神療養病棟での退院支援

<医療機関での地域定着支援>

- ・定期通院支援（往診や訪問看護の導入・地域支援者との連携）

☆ピアサポーター

<退院に向けた支援>

- ・精神科病院等での発表活動
- ・地域移行利用者等への個別支援
- ・精神科病院入院患者との個別面談

<地域定着支援>

- ・事業所職員等に同行して訪問し個別支援
- ・ピアサポーター養成・スキルアップ研修

障害福祉サービス事業所

<退院支援>

- ・入院患者の体験プログラムの受け入れ
- ・地域定着支援
- ・サービス提供、医療機関との連携

相談支援事業所

☆ ピアサポーターの積極的活用

<退院に向けた支援>

- ・地域移行支援サービス提供

<地域定着支援>

- ・医療機関・関係機関との連携、地域定着支援サービス提供

訪問看護ステーション

- ・精神科訪問看護の提供

精神科クリニック

- ・各区との連携

委託法人（コーディネーター）

- ・地域移行・地域定着推進連携会議（検討会含む）の運営
- ・ピアサポーターの活用に係る事業（養成・育成・ピアサポーター支援者向け研修）
- ・介護保険事業所向け研修
- ・精神科病院向け研修の実施
- ・障害福祉サービス事業所等へのスーパーバイズ

区（精神保健福祉相談員）

- ・障害福祉サービス利用申請受付
- ・本人、支援者からの相談・助言等

区（保護課退院支援員）

- ・長期入院患者退院支援
- ・ピアサポーターとの同行支援等

市（精神保健福祉センター・障害者支援課・障害福祉課）

- ・地域移行支援方策の検証（地域移行・地域定着連携会議 自立支援協議会 等）
- ・グループホームなどの施設整備
- ・検証事業の評価（市民福祉調査委員会精神保健福祉専門分科会）
- ・神戸市登録ピアサポーターの養成・登録

2 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた取組概要（全体）

（1）精神障害者地域移行・地域定着支援事業 （2法人に委託）

- 地域移行・地域定着推進連携会議の開催
必要に応じて、実務者会議も適宜開催
- 精神科病院等関係機関を対象とした地域移行・地域定着研修
- ピアサポーターの活用に係る事業（退院支援プログラム、地域定着支援）
- 精神障害者の地域移行に係る事業 ピアサポーターの活用
 - ①地域生活報告会（体験談プログラム）の実施
 - ②地域移行・地域定着利用者への個別支援（個別支援プログラム）
- 包括ケアシステムの構築状況の評価に係る事業 各機関との連携
- 措置入院者等の退院後の医療等の継続支援
- 地域の地域移行関係職員に対する研修等やスーパーバイズ
- 地域住民等研修会の開催

（2）地域支援機能強化事業＜障害者支援課＞

（3）神戸市グループホーム整備支援事業＜障害者支援課＞

（4）長期入院患者退院支援事業＜保護課＞

3 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に取り組む市・圏域（例）

関係機関の役割		
市町村ごとの保健・医療・福祉関係者による協議の場	協議体の名称 設置根拠	神戸市地域移行・地域定着推進連携会議
	協議の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・精神科病院職員に地域移行・地域定着事業の理解を促し、スタッフ全員で地域移行に取り組む体制づくり。 ・地域の事業所・診療所が制度を理解し、実際に取り組める仕組みづくり。 ・地域包括ケアシステムとして各区の自立支援協議会に精神専門部会を設立することを目指す。 ・事業において、ピアサポーターの養成・ピアサポーターの活用により地域移行・地域定着の効果をあげる。
	協議の結果としての成果	<ul style="list-style-type: none"> ・ピアサポーターの活用を理解を示し、事業を受け入れて取り組む精神科病院が増えている。 ・取り組みのなかった事業所が事業の利用を検討し始めた。 ・協議会では実践的な対策を検討する事は困難との声により、実務代表者が集まり検討会を開いて全市で統一して取り組める仕組みづくりを始めている。
障害保健福祉圏域ごとの保健・医療・福祉関係者による協議の場	協議体の名称 設置根拠	(〇〇圏域の場合)
	協議の内容	
	協議の結果としての成果	
都道府県ごとの保健・医療・福祉関係者による協議の場	協議体の名称 設置根拠	
	協議の内容	
	協議の結果としての成果	

4 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた取組の経緯

1) 精神障害者地域移行・地域定着推進事業 <精神保健福祉センター 平成28年度以降は、市内2法人に委託して実施>

- ・ピアサポーターの養成・支援

- ・ピアサポーターの活用：別紙「ピアサポーターによる地域移行・地域定着」

(個別支援活動・・・地域相談支援事業「地域移行」受給者に対する同行等支援／発表活動・・・精神科病院などでの体験発表)

<実績：参考>

年度	神戸市精神障害者地域移行・地域定着推進事業(市内病院対象)				神戸市登録ピアサポーター数
	個別支援活動(人)	発表活動			
		参加者(延)	回数	活動ピア数(人)	
24	実績なし	101	3 (2病院)	7 (延10)	7
25	利用者 1 / 活動ピア 1 (延2)	147	10 (5病院)	11 (延24)	17
26	利用者 2 / 活動ピア 1 (延18)	791	58 (7病院)	17 (延130)	27
27	利用者 4 / 活動ピア 2 (延22)	997	75 (5病院)	21 (延175)	34
28	利用者 7 / 活動ピア 5 (延61)	1063	89 (7病院)	18 (延200)	42

- ・ピアサポーター交流会(ピアサポーターによる自主活動)への支援・助言

2) 地域支援機能強化事業<障害者支援課>

障害者地域生活支援センター(小規模センター)に専任の地域支援機能強化専門員を配置し、障害者の地域移行の推進及び地域生活継続支援を目的として、地域移行に関する関係機関や地域生活を支援する関係機関のネットワーク構築、地域住民に対する普及・啓発、神戸市体験型グループホーム事業の利用調整等をおこなう。

3) 神戸市グループホーム整備支援事業<障害者支援課>

グループホームを運営中の事業者又は的確に運営することができると思われる事業者が共同生活住居を設置する場合にその費用を助成。

4) 長期入院患者退院支援事業<保護課>

生活保護法による医療扶助における長期入院患者のうち入院治療の必要性が低い者に対し退院を支援することにより、患者の適正な処遇を確保し、医療扶助の適正な給付を図ることを目的として神戸市長期入院患者退院支援事業を平成17年より実施している。

5 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた取組における強みと課題

特徴(強み)

1. 政令市として、全市統一しての取り組みができる。各機関との情報共有や連携体制がとりやすく、地域の病院や事業所等の状況が把握しやすい。
2. 平成28年度より、2法人に委託して事業を実施することで、医療機関、サービス事業所、地域組織等との連携が取りやすくなり、課題も見えやすくなった。
3. ピアサポーターの活用において、神戸市登録ピアサポーターとして、相談事業所と連携した活動が増えてきている。また、病院のピアサポーターの受け入れ期待が深まっている。

課題

1. 地域移行・地域定着に関心を示す事業所は増えてきたが、相談支援事業所のマンパワー不足等の問題がある。事業所の理解を得て、精神障害者の地域移行・地域定着の相談支援の取り組みを増やす方策を検討する必要がある。
2. 地域移行・地域定着連携会議等により、病院の受け入れが進み、地域移行を考える患者も増えているが、入院患者の側にいる病棟スタッフ全員に知識を与え、理解を得るところには至っていない。
3. 登録ピアサポーターであるが活動できていない者、体験発表活動はしても個別支援には抵抗を示す者が多く、事業を進める上で個別支援のできるピアサポーターの育成が必要。
4. 地域包括ケアシステム構築のため、各区に精神障害者専門の協議の場を設けられるように各関係機関との連携、地域の理解を求めていく研修会の開催などをすすめる必要がある。

6 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた指標の推移

NO	指 標	平成26年度	平成27年度	平成28年度
①	1年以上の精神科病院在院患者数(人) (各年6月30日現在)	1769	1692	1641
②	各年度 地域移行支援利用者数(実人数)(人)	11	8	16
③	②のうち、退院した者の数(実人数)(人)	8	5	10
④	ピアサポーターの養成者数(実人数)(人)	10	8	8
⑤	④のうち、活動している者の数(実人数)(人)	9	8	7

【記入上の留意点】

- ③について ※利用年度の翌年度以降に退院した者については、利用年度に計上して下さい。
 ※退院後に再入院となった者については、退院した者(1人)として計上して下さい。
- ⑤について ※養成年度以降に、実際の活動を開始した者については、養成年度へ計上して下さい。

7 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた 平成29年度の取組スケジュール

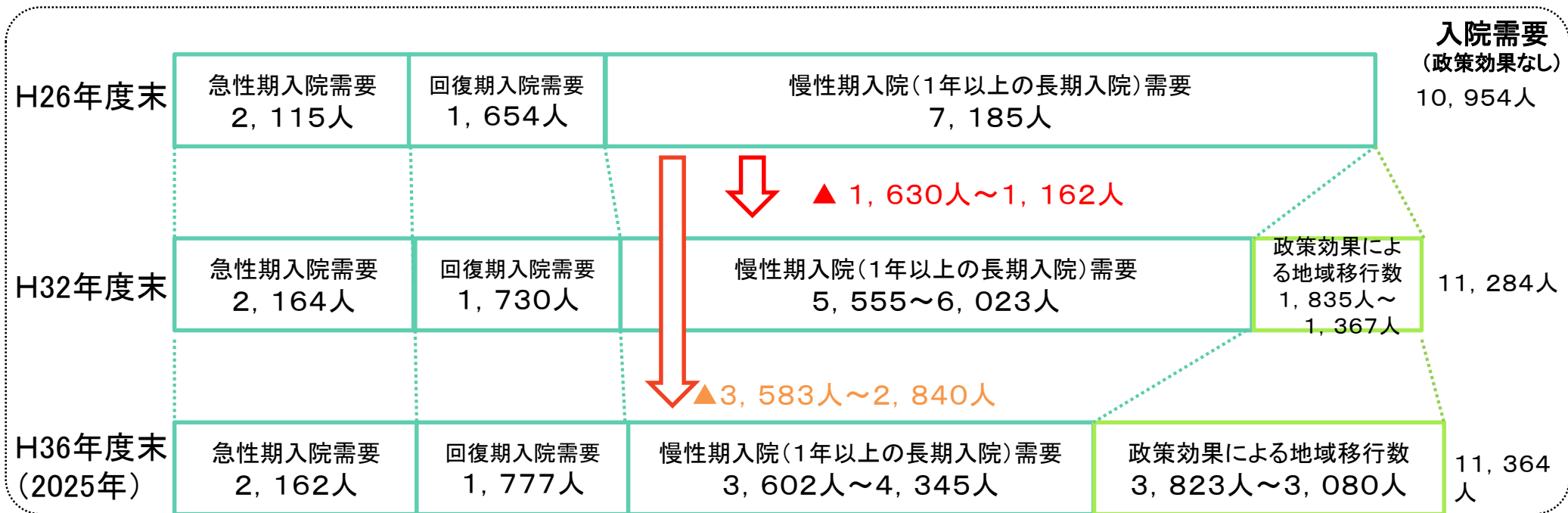
平成29年度の目標

1. 地域移行・地域定着支援事業を医療機関・事業所に広く知ってもらうための方策づくり
2. 相談支援事業所と同行して個別支援を有効にできるピアサポーターの育成
3. 地域移行・地域定着のための地域づくりをすすめる協議会を地域単位でつくる

時期(月)	実施内容 (主な予定)	担当
H29年 7月	第1回地域移行・地域定着推進連携会議	神戸市が委託した 2法人
H29年 9月	地域支援員との共催研修会 地域移行・地域定着について	
H29年 9月	ピアサポーター養成研修	
H29年12月	第2回地域移行・地域定着推進連携会議	
H30年 2月	ピアサポーター養成研修	
H30年2月	第3回地域移行・地域定着推進連携会議	
毎月1回	地域移行・地域定着推進事業検討会(病院10、救護施設1、診療所1、 訪看2、サービス事業所6、ピア1、支援センター2、区PSW1で構成)	

精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた目標設定（兵庫県）

- 政策効果を見込まない将来の入院需要を推計し、①「地域移行を促す基盤整備」、②「治療抵抗性統合失調症治療薬の普及」、③「認知症施策の推進」による政策効果を差し引いて、入院需要の目標値を設定



平成36年度末(2025年)までの政策効果の見込みの内訳

政策	地域移行する長期入院患者数の見込み(政策効果)	人数
① 地域移行を促す基盤整備	継続的な入院治療を要する長期入院患者(認知症除く)以外(長期入院患者(認知症除く)の30~40%)	2,464人~1,854人
② 治療抵抗性統合失調症治療薬の普及	継続的な入院治療を要する長期入院患者(認知症除く)の25~30%	1,117人~1,061人
③ 認知症施策の推進	認知症による長期入院患者の13~19%	242人~165人

合計 3,823人~3,080人 10

年度	神戸市精神障害者地域移行・地域定着推進事業(市内病院対象)				神戸市登録ピアサポーター数
	個別支援活動(人)	発表活動			
		参加者(延)	回数	活動ピア数(人)	
24	実績なし	101	3 (2病院)	7 (延 10)	7
25	利用者 1 / 活動ピア 1 (延 2)	147	10 (5病院)	11 (延 24)	17
26	利用者 2 / 活動ピア 1 (延18)	791	58 (7病院)	17 (延130)	27
27	利用者 4 / 活動ピア 2 (延22)	997	75 (5病院)	21 (延175)	34
28	利用者 7 / 活動ピア 5 (延61)	1063	89 (7病院)	18 (延200)	42